

第一の極相	第二の極相	
<p>第三人称の死 誰かの死 対象（凝視） 死そのもの ⇐ 死は第三人称として現れる</p>	<p>第一人称の死 私の死 × 個人の立場を離れて概念的にとらえたものとしての自分自身の死 「<u>病人が医者に譲歩</u>」 同一人物 客観視 「<u>第一人称が第三人称に譲歩</u>」 対象（凝視） × 死そのもの 死に向かう生 死に生きる生</p>	
<p>死と時制 彼は死んだ。（過去） 彼は死ぬ。（現在） 彼は死ぬだろう。（未来）</p>	<p>× あなたは死んだ。 あなたは死ぬ。 あなたは死ぬだろう。</p>	<p>× 私は死んだ。 × 私は死ぬ。 私は死ぬだろう。</p>
<p>物理的、生理的、日常的 消滅、消失、紛失、喪失 例 会社の何某の死 機能の欠如 代替可能 愛用品の紛失 無名者の死 自己に近づけた例 名演奏者の楽器（身体の延長）の死 自分の身体の場合 私の身体の部分的死</p>		